

デザインコンテスト受賞作品の紹介

令和4年度に実施した「鳥取らしい「木を活かした塀」デザインコンテスト」の受賞作品をご紹介します。
自由な発想やデザインをぜひ掘つくりの参考にしてください。

概要	応募総数:55点 募集期間:令和4年8/8(木)~12/23(金) 募集内容:住宅などの敷地周囲や庭に設置する「木を活かした塀(ウッドフェンス)」のデザイン
審査員	会長:門脇義樹(鳥取県木材協同組合連合会) 委員:岡本善博(有限会社岡本緑化) 委員:小林利住(株式会社プラスカーサ) 委員:小椋真美江(株式会社小椋設計事務所) 委員:前田弘信(鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課)

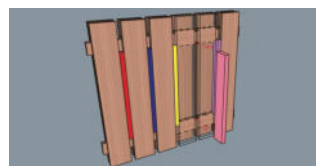
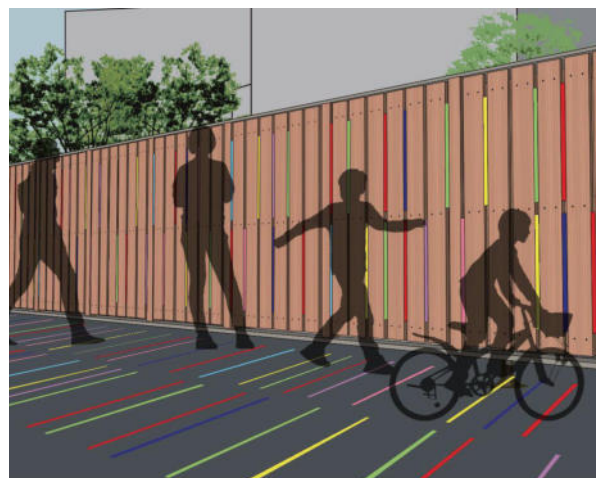
全体講評

- 木塀のデザインという行為を通じて何かを楽しもうとする姿勢を感じられ、「塀といえばこういうもの」という固定概念を打破する意欲的な作品が多く、刺激をいただくことができました。
- コミュニケーションが生まれる仕掛けを備えた塀も多く見られ、コンテストを通じて視線や人の動きを「さえぎる塀」から人や地域が「つながる塀」へと昇華されていた。
- コンテスト受賞作品を参考にすると、公共や民間、和風や洋風などを問わず県内に多くの木を活かした塀や屋外空間が生まれることを期待したい。

グッド木塀賞(最優秀)

+αcolor ~生活にいろとりどりのカラーを付加(+α)する塀~ | 原田 浩輔

- 鳥取県産杉材による板塀の隙間にカラフルなガラス板を差し込むことにより、木塀の表情を豊かにする。
- ガラス板のカラーフィルターを通した陽の光が周囲の道や人、建物を明るくカラフルに照らす。
- ガラス板は自由に抜き差しできるため、様々なオリジナルデザインやアレンジが可能。



講評

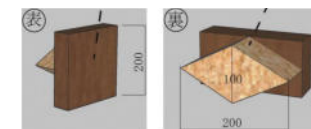
- 木塀といえば杉や桧の色、というイメージを変えるカラフルさで、明るく目立つことに加え、塀本体だけでなく、透過する太陽光もカラフルにするというアイデアが素晴らしい。
- 塀のデザインといえば表面の板材に目が行きがちだが、その隙間に着目したことが面白い。
- 安全性の点からは、色付きのガラス板ではなく、アクリル板等を用いることが望ましい。
- このデザインをベースに板や隙間の幅を変えたり、色を変えるなど、様々なアレンジができる可能性を感じる。

グッド木塀賞(最優秀)

Wood metric ~木何学~

柴田 祐

- ベースとなる菱形の格子による塀に3種類の樹種(色)、形のパーツを取り付けることで、様々な模様や図柄を表現することを可能とした。
- パーツの木材が傷んだ場合は容易に取替が可能で、デザインも変更が可能であるため、長く愛用できる。



講評

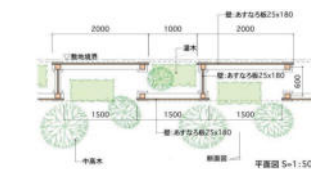
- 木塀を設置してそれで完成ではなく、例えば子どもの成長や興味にあわせて図柄を変化させていくなど、コミュニケーションが生まれ、愛着を持って楽しめる仕掛けが素晴らしい。
- 既製品ラティスフェンスの応用や、家づくりの端材をパーツに利用することも考えられるかもしれない。
- ベースとなるフェンスの強度の確保や長く持たせるための耐久性の面については更に工夫が必要。

ナイス木塀賞(優秀)

木を活かした塀

松岡 哲也

- 高さ2mの塀の強度を確保するため、土台・柱・桁をクランク状に配置。全体に架ける屋根は、強度に加えて木塀を保護し耐久性を向上させる役割も担っている。板塀の配置により、通風と視線の遮への両立も可能。
- 鳥取県産のあすなろや杉の赤身を使用することで、防蟻・防腐剤に頼らずとも耐久性を高めることができる。



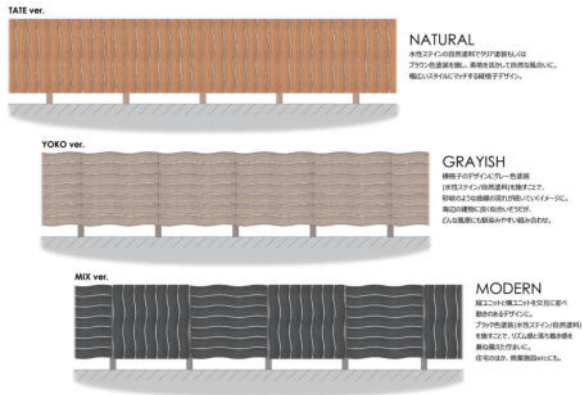
講評

- 鳥取県産のあすなろ又は杉の赤身を利用するといった材料選定の提案は素晴らしい。
- 建築物と調和する屋根付きのデザインは完成度が高いが、一方で設置にあたって敷地に余裕が必要で、設置コストも安価とはいえないのではないか。塀と屋根の日陰による植物への悪影響も課題である。

|||| ナイス木塀賞(優秀)

とっどりの木塀 SAMON ~サモンヌ~ | 小西 裕美

- ・鳥取砂丘の風紋(砂紋)をイメージし曲線に加工した鳥取県産杉材による板材を使用。
- ・1メートル角を1ユニットとし、タテ・ヨコに組み合わせることで様々なデザインバリエーションを展開。



講評

- ・砂丘をイメージしたデザインはシンプルで、タテ・ヨコの組み合わせも面白い。木塀の裾野を広げるデザイン。
- ・一般的には板材を波状に加工することは容易ではないが、工場で規格化し製品化できれば面白い。

|||| ナイス木塀賞(優秀)

△(さんかく)が生む○(わ) | 疋田 浩佑

- ・釘等を使わない木組みの技術により作成した三角形のユニットを組み合わせることでフェンスを構成。
- ・三角フレームの中に花瓶や本を置くことも可能。ベンチを加えるなどし、交流を生み出す場とすることもできる。



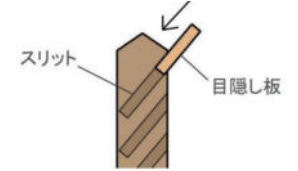
講評

- ・伝統的な木組みの技術を活かしたユニットはオブジェやファニチャーとしても使え、魅せる塀とできる。
- ・コミュニティスペースや公共の場などに設置することも考えられるが、強度・耐久性の確保は工夫が必要。

|||| ナイス木塀賞(優秀)

ZIGZAG Fence | 民野 美子

- ・鳥取県産材による木塀をジグザグ形状に配置し強度を確保するとともに、植栽等のスペースを生み出す。
- ・スリット上の目隠し板は抜き差しできるように柱側面を加工し、傷んだ板はその部分だけを交換できる。



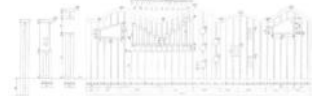
講評

- ・あたたかみがあり、植栽との組み合わせが良く、経年変化も味わいとして楽しめるようなデザインである。
- ・板材を交換できるメンテナンス上の工夫は素晴らしいが、スリットの内部に水が溜まらないよう工夫が必要。

|||| ナイス木塀賞(優秀)

音で楽しむ塀 | 三島 幸咲

- ・木塀に梨の木による木琴、マラカス、ギロの打楽器を組み込み、音を楽しむことができる。
- ・塀の材料は鳥取県産杉材を使用し、上部を波状のデザインとすることであたたかみのある印象とした。

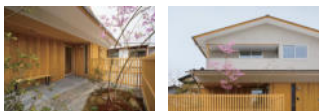


講評

- ・音を楽しむことでコミュニティが生まれ、「木」に興味を持ってもらうきっかけとなるのではないかと。
- ・公園や保育施設などにピッタリで楽しい風景が想像されるが、設置の容易さやコスト面は課題が残る。

桧+金属支柱

ウエノイエ/上野ハウジング有限会社



住宅はもちろんのこと、近隣景観との調和を図ることを意識したシンプルを追求したデザインとなっている。

- 格子材: 桧/幅60mm×奥行45mm
- 木材処理: 木材保護塗料塗り

杉+金属支柱

株式会社小田原工務店



前面道路からの視線を遮るため高さ1.6mとしているが、景観に馴染み、圧迫感を感じないのは木塀ならではの。

- 横板材: 杉/幅165mm×厚み10mm
- 木材処理: 木材保護塗料塗り

杉+米松支柱

株式会社ヌック



笠木で水平ラインが強調され、シックな塗装色も相まってモダンな印象。柱の交換に配慮し、足元は金物施工とされている。

- 横板材: 杉/幅120mm×厚み20mm
- 木材処理: 木材保護塗料塗り

杉+金属支柱

株式会社創伸

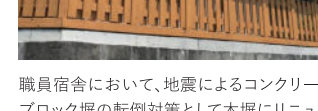


杉を用いたシンプルな塀は実はコストが安いとのこと。ウッドデッキには水に強いアスナロ材を用いて耐候性の向上を図っている。

- 横板材: 杉/幅150mm×厚み15mm
- 木材処理: 木材保護塗料塗り

杉+杉支柱

鳥取県

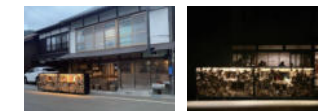


職員宿舎において、地震によるコンクリートブロック塀の転倒対策として木塀にリニューアルされた事例。劣化防止として、棟木を配して、金属屋根を架けている。

- 縦板材: 杉/幅165mm×奥行10mm
- 木材処理: 木材保護塗料塗り

スチールフレーム+薪

株式会社プラスカーサ



智頭町における官民が連携したまちづくりの一環で制作された薪アートユニット。デザイナー、林業家や高校生などが様々な感性や視点で、山の資源を活かした暮らしや林業景観を身近なものと感じてもらえるよう制作された。

杉+金属支柱

やまのすみか株式会社



住宅にマッチするデザイン性の高い塀。視線の遮へいと通風を両立させるアイデアとして、内外に交互に板材を張っている。

- 横板材: 杉/幅120mm×厚み10mm
- 木材処理: 木材保護塗料浸漬

杉+桧支柱(土台桧)

こおげ建設株式会社



和の住宅に似合う伝統的な大和張りを採用しているが、笠木と土台の上下に空間を設けることで重厚過ぎない印象となっている。

- 縦板材: 杉/幅185mm×厚み27mm
- 木材処理: 注入材

杉+金属支柱

株式会社しらいし設計室



ゆるやかに周囲と区切られた塀は、細めの板をリズムカルに張ることで軽快な印象を与える。色と素材が外壁の質感と調和している。

- 横板材: 杉/幅60mm×厚み12mm
- 木材処理: 木材保護塗料塗り

木塀展示施設



①鳥取県立二十一世紀の森・トッキーノ館(森林学習展示館)では、木塀の見本パネルが展示されており、様々なデザインを実際に確認することができます。

開園時間: 午前9時から午後4時30分まで(休園日毎週火曜日、年末年始)
アクセス: 鳥取市河原町稲常113番地 電話番号: 0858-71-0524



②鳥取市数津の県道292号線沿いには、鳥取県木材協同組合と久大建材が共同で設置された木塀モデル展示場があり、実際に設置された木塀を見ることができます。

アクセス: 鳥取市数津202-1(老人ホームすずの里敷地内)
注意事項: 敷地内に駐車や立ち入る際は、施設の方に声をかけてください。

Q 木塀やウッドデッキを長持ちさせるコツは？

水が溜まる箇所を作らないことが大切です。木材同士を接合する部分など、どうしても水が溜まってしまう箇所が生じることもあります。風通しをよくするよう工夫するなど、木材を乾燥状態に保つ工夫が必要です。

また、劣化や腐食をした部材を取替可能な構造にしておくことも有効です。

Q メンテナンスはどうすればいい？

木塀やウッドデッキは日々風雨にさらされ、日射による紫外線も浴びていることから、表面の保護塗装は数年に一度は塗り替えが必要です。塗り替えの際は、事前にできるだけ高圧で水洗いしたあと乾燥させるとともに、更に電動サンダーなどで表面を研磨すれば、より良い仕上がりが確保できます。

Q 鳥取県産材も活用できる？

木塀に張る板には身近で入手できる県産杉材などが多く活用されています。ウッドデッキなどは比較的腐朽に強い桧材が好まれますが、柔らかい感触の杉材もオスমেで、水に強い赤身の部位（丸太の中心に近い部分）を用いるとよりいいでしょう。また、湿気に強いとされているアスナロ材などもオスমেです。

Q 設置はどこへ頼めばいい？

新築の住宅であれば、まずは建設される工務店にご相談ください。それ以外の場合は、本冊子やインターネットでお好みの塀をイメージした上で、お近くの工務店や、外構・庭づくりを手掛ける業者さんへ問い合わせされるといいでしょう。

Q DIYで作ることもできる？

下調べや計画をしっかりとすれば充分可能ですが、塀やウッドデッキは外へ設置するもので、強度や耐久性を確保することも必要となりますので、DIYの経験がない方には少々難しいかもしれません。知識のある方や経験者に相談されることをお勧めします。

Q 日ごろのお手入れは？

落ち葉や泥などは木材を湿らせる要因となりますので、こまめに掃除することが大切です。また、ウッドデッキ上に物を置く際は、雨が掛からない場所を選ぶか、こまめに移動させて乾燥状態を保つなどしてください。

Q 木塀やウッドデッキづくりの参考になるWebサイトはありますか？

林野庁のホームページや全国木材協同組合連合会が運営するサイトの情報が充実しています。

林野庁
(木の塀、木のエクステリアの普及)

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rivou/kidukai/gaikou/gaikou.html>



Love Kinohei
(全国木材協同組合連合会の外部サイト)

<https://love.kinohei.jp/>



木塀の設置に補助金が使えます

1. とっとり住まいる支援事業

下記は制度概要の抜粋です。
活用にあたっては詳細の要件をご確認ください。

木造戸建て住宅の新築・改修の際に活用可能な補助金で、木塀への県産材の活用に対して新築は最大30万円、改修は最大25万円の支援を受けることができます。

新築**必須項目：定額15万円**

県産材を10立方メートル以上使用する木造戸建て住宅の新築であること。

木塀に活用できる加算項目：最大15万円

県産材を使用した内装仕上げ材または外装仕上げ材で含水率20%以下のもの（木塀を含む。）を使用した場合、見付面積1平方メートルあたり2千円を支援。

※加算項目は上記のほか伝統技能活用に対する支援、子育て世帯への支援等があり、支援額は最大で100万円まで活用可能。

改修**必須項目：最大25万円**

①構造、下地材として県産材を0.3立方メートル以上使用する場合、使用量1立方メートルあたり2万円を支援。

②県産材を使用した内装仕上げ材または外装仕上げ材で含水率20%以下のもの（木塀を含む。）を使用した場合、見付面積1平方メートルあたり2千円を支援。

※必須項目のほか新築と同じように加算項目があり、最大で50万円まで活用可能。

2. 震災に強いまちづくり促進事業（ブロック塀耐震対策事業）

危険なブロック塀等の撤去を行い、その後にフェンスや生け垣など軽量なものに改修を行う所有者の方に対して補助を行っています。

必須項目：補助率2/3、避難路：最大60万円、不特定の者が通行する道路：最大30万円。

以下の全ての要件を満たすブロック塀等の除却であること。

1. 高さが60cmを超えるもの
2. 避難路、又は不特定の者が通行する道路に面したもの
3. 補強コンクリート塀・組積造塀の点検表により安全対策が必要と判断された危険性の高いもの

加算項目：補助率1/3、避難路：最大20万円、不特定の者が通行する道路：最大10万円。

必須項目と合わせて行うフェンス（木塀を含む）・生け垣等への改修。

※お住いの市町村により、補助実施の有無・補助内容が異なる場合がありますので、詳細については市町村役場へご確認ください。

お問い合わせ先／県庁住まいるまちづくり課

とっとり住まいる支援事業

※補助の申請先は県の各総合事務所建築住宅課

お問い合わせ **0857-26-7371**

**ブロック塀耐震対策事業**

※補助の申請先はお住いの市町村役場

お問い合わせ **0857-26-7234**

